

## 第54回(平成19年度)「大河内記念生産特賞」受賞について ～事業体に対する最高位の賞を受賞～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)および新日本石油精製株式会社(社長:大野 博)は、「サルファーフリー燃料の製造技術の開発および実用化」の実績に対し、財団法人大河内記念会※1より、「大河内記念生産特賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。

「大河内賞」は、わが国の生産工学・生産技術の研究開発および高度生産方式の実施等に関して顕著な功績があった個人(またはグループ)および事業体に対して、(財)大河内記念会が表彰を行っている、歴史と権威とを兼ね備えた顕彰制度です。その中でも「大河内記念生産特賞」は、「生産工学上の優れた独創的研究によりあげられた産業上の特に顕著な業績」に対して授与されるもので、事業体を対象とする賞の最高位に位置します。

今回、受賞の対象となった「サルファーフリー燃料の製造技術の開発および実用化」は、ガソリンおよび軽油の製造に関して、高選択※2で高活性な触媒と、その触媒の性能を最大限に発揮する新プロセスの「ROK-Finer/ロックファイナー」を開発し、緻密な運転・品質管理を行うことにより硫黄分10ppm以下の高効率なサルファーフリー燃料の安定供給に成功した画期的な技術です。また、輸送燃料のCO<sub>2</sub>やSO<sub>x</sub>の排出を抑制し得る純国産の革新的技術であると同時に、特許ライセンス等の形で、グローバルスタンダードとも言うべき中核技術として全世界的に広く使用が拡大しつつあります。

当社は、行動規範として「New Ideas」を掲げておりますが、今後もたえず新しい発想で未来に挑戦し、ビジネスを創造することで、人々から最も支持される総合エネルギー企業を目指してまいります。

以上

※1. 第三代理化学研究所長の大河内正敏博士が、学会・産業界に残した功績を記念して1954年に設立された。

※2. オクタン価の低下を最小限にとどめたまま高い脱硫率を維持する特性。



新日本石油精製仙台製油所のROK-Finer装置

### ● 別添資料

📎 [「ROK-Finer/ロックファイナー」の概要、サルファーフリーについて\(47.3KB\)](#)